

きのくにICT教育

校種	学年	時間	コンピュータを使いこなす力 ※プログラミング・AIを通じて、コンピュータに人間の意図した処理を行わせることができる能力		コンピュータやネットワーク等を活用する力		
			集中的に力をつける		1年を通じて力をつける		
			時間	能力	時間	能力	
高校 (応用期)	3	70時間	20 / 70時間 (情報科)	<ul style="list-style-type: none"> テキスト言語によるプログラミングを用いて事象をモデル化する力 生活や社会の問題を、コンピュータで解決しようとする力 AI技術を体験し、活用しようとする力 	50 / 70時間 (教科情報)	アプリケーション操作スキル 文字入力やマウス等の操作スキル	【高校】 <専門科> CAD、デザイン、文書処理などのスキルの習得 等 <普通科> 資料の収集や処理、発信 等
		20時間	10 / 17.5時間 技術・家庭科(技術分野)	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御のプログラミングで問題を解決する力 プログラミング(ビジュアル言語)でロボットに意図した動きをさせる力 テキスト言語の体験 	10時間		【中・高】 統計教育での表計算ソフトの活用とスキルの習得 等
		15時間	5 / 35時間 技術・家庭科(技術分野)	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング(ビジュアル言語)で問題を解決する力 ビジュアル言語で基礎的なプログラミングをする力 プログラミングで小型コンピュータに意図した動きをさせる力 	10時間		【中学校】 調べたことのとまとめを、プレゼンで表す技術の習得 等
小学校 (体験期)	4~1	18時間	8時間 総合的な学習の時間や、各教科等からまとまった時間を確保	<ul style="list-style-type: none"> ビジュアル言語でプログラミングに慣れ親しむ プログラミングで、ロボットに、意図した動きをさせる力(初級) 	10時間	【小学校】 文字入力やマウス操作の習得 等	各教科等にて、実施
		18時間	8時間 総合的な学習の時間や、各教科等からまとまった時間を確保		10時間		
		コンピュータの活用や、アンブレグドでプログラミング的思考を育む					

和歌山県では平成31年度(2019年度)から、小学校・中学校・高等学校において、発達の段階に応じた体系的なプログラミング教育を実施します。